

2013年度
決算説明資料

2014年5月9日
旭化成株式会社

1. 2013年度実績

主要決算数値	P4～5
連結損益計算書	P6
金融収支・有利子負債残高	P7
特別損益	P8
セグメント別売上高・営業利益	P9～12
連結貸借対照表	P13
連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費	P14

2. 2014年度業績予想

当期の業績予想	P17
新セグメント別売上高・営業利益	P18
事業別売上高・営業利益	P19～21
事業(旧セグメント)別業績推移	P23～24
事業(旧セグメント)別設備投資額、 減価償却費、研究開発費	P25
設備投資件名	P26
2013年度セグメント別概況	P27～39
連結包括利益計算書	P40

3. 参考資料

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。
当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

1. 2013年度実績

主要決算数値(1)

AsahiKASEI

(億円)

	12年度	13年度		対前年度 (b-a)		対最新予想 (b-c)	
	a	実績 b	最新予想*1 c	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	16,666	18,978	18,960	2,311	13.9%	18	0.1%
営業利益	920	1,433	1,400	514	55.9%	33	2.4%
経常利益	951	1,429	1,385	477	50.2%	44	3.2%
当期純利益	537	1,013	770	476	88.6%	243	31.6%

*1 2014年2月時点の予想

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ: ¥/kl)	57,500	67,300	67,125
為替レート (相場平均: ¥/US\$)	83	100	100

	13/3月末	14/3月末
総資産	18,002	19,151
自己資本	8,121	9,127
有利子負債残高	3,814	3,039
D/Eレシオ	0.47	0.33

増減
1,149
1,006
-776
-0.14

主要決算数値(2)

	12年度	13年度
1株当たり当期純利益(EPS)	38.43 円	72.48 円
1株当たり年間配当金	14 円	17 円
配当性向	36.4 %	23.5 %
総資産利益率(ROA)	3.3 %	5.5 %
自己資本利益率(ROE)	7.1 %	11.7 %
1株当たり純資産(BPS)	581.05 円	653.15 円

<連結対象範囲>

連結子会社数	126	131
持分法適用会社数	43	40

期末人員	28,363 人	29,127 人
------	----------	----------

連結損益計算書

AsahiKASEI

(億円)

(%は売上高比率)	12年度	13年度
売上高	100.0% 16,666	100.0% 18,978
売上原価	74.4% 12,395	73.0% 13,857
売上総利益	25.6% 4,272	27.0% 5,121
販管費	20.1% 3,352	19.4% 3,687
営業利益	5.5% 920	7.6% 1,433
営業外損益	32	-5
(内、金融収支)	(8)	(14)
(内、持分法投資損失)	(-2)	(-18)
(内、為替差益)	(43)	(4)
経常利益	5.7% 951	7.5% 1,429
特別損益	-128	210
税前利益	4.9% 823	8.6% 1,639
法人税等	-284	-618
少数株主損益	-2	-8
当期純利益	3.2% 537	5.3% 1,013

増減額	増減率
2,311	13.9%
1,463	11.8%
849	19.9%
335	10.0%
514	55.9%
-36	
(6)	
(-16)	
(-39)	
477	50.2%
338	
816	99.1%
-334	
-6	
476	88.6%

金融収支・有利子負債残高

(1) 金融収支

(億円)

	12年度	13年度	増減
支払利息	-33	-34	-0
受取利息	13	12	-1
受取配当金	29	37	7
その他	-1	-1	-0
合 計	8	14	6

(2) 有利子負債残高

(億円)

	13/3月末	14/3月末	増減
短期借入金	1,130	1,036	-94
コマーシャル・ペーパー	700	100	-600
長期借入金	1,469	1,460	-9
社債	450	400	-50
リース債務	65	42	-22
合 計	3,814	3,039	-776

特別損益

(億円)

	12年度	13年度	増減
投資有価証券売却益	1	3	2
固定資産売却益	2	17	14
受取損害賠償金	-	535	535
特別利益	3	555	552
投資有価証券評価損	5	12	7
固定資産処分損	40	56	16
減損損失	21	4	-16
環境対策費	2	-	-2
事業構造改善費用	64	225	162
開発中止に伴う損失	-	48	48
特別損失	132	345	214
特別損益	-128	210	338

セグメント*1別売上高・営業利益(1)

AsahiKASEI

(億円)

	売上高			営業利益			13年度最新予想*2	
	12年度	13年度	増減	12年度	13年度	増減	売上高	営業利益
ケミカル	6,846	7,916	1,070	229	389	160	7,900	380
繊維	1,096	1,209	113	40	86	45	1,220	85
住宅	4,862	5,344	482	543	630	87	5,340	620
建材	515	550	35	40	55	15	560	60
エレクトロニクス	1,311	1,450	138	28	142	114	1,450	140
医薬・医療	1,335	1,525	191	159	303	143	1,520	285
クリティカルケア*3	521	798	277	-37	-35	1	790	-35
その他	180	185	5	22	17	-5	180	15
消去又は全社	-	-	-	-105	-153	-48	-	-150
合計	16,666	18,978	2,311	920	1,433	514	18,960	1,400

*1 2013年度第1四半期より、「ケミカル・繊維」、「住宅・建材」、「エレクトロニクス」、「ヘルスケア」の4事業領域の区分に基づき、事業セグメントの記載順番を見直している。

*2 2014年2月時点の予想

*3 「クリティカルケア」セグメントにおいて、2012年度では2012年4月27日以降の業績を開示していたが、2013年度より全期間の業績を連結対象としている。

セグメント*1別売上高・営業利益(2)(海外売上高) **AsahiKASEI**

(億円)

	12年度			13年度			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率		金額	比率	金額	伸び率
ケミカル	6,846	2,902	42.4%	7,916	3,548	44.8%	646	22.3%
繊維	1,096	386	35.2%	1,209	483	39.9%	96	25.0%
住宅	4,862	-	-	5,344	-	-	-	-
建材	515	-	-	550	-	-	-	-
エレクトロニクス	1,311	749	57.1%	1,450	904	62.4%	155	20.7%
医薬・医療	1,335	286	21.4%	1,525	352	23.1%	66	23.0%
クリティカルケア*2	521	519	99.5%	798	793	99.3%	274	52.9%
その他	180	10	5.5%	185	7	3.7%	-3	-31.5%
合 計	16,666	4,852	29.1%	18,978	6,087	32.1%	1,235	25.5%
東アジア地域*3への売上高		2,841	17.0%		3,405	17.9%	564	19.9%
(内、中国への売上高)		1,556	9.3%		1,872	9.9%	317	20.4%

<参考>住宅・建材を除いた売上高 11,290 4,852 43.0% 13,084 6,087 46.5%

*1 2013年度第1四半期より、「ケミカル・繊維」、「住宅・建材」、「エレクトロニクス」、「ヘルスケア」の4事業領域の区分に基づき、事業セグメントの記載順番を見直している。

*2 「クリティカルケア」セグメントにおいて、2012年度では2012年4月27日以降の業績を開示していたが、2013年度より全期間の業績を連結対象としている。

*3 中国、韓国、台湾

セグメント^{*1}別売上高・営業利益増減要因(1)

(億円)

		12年度	13年度	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
ケミカル	売上高	6,846	7,916	1,070	335	497	495	238	-
	営業利益	229	389	160	37			-	-374
繊維	売上高	1,096	1,209	113	69	70	60	-26	-
	営業利益	40	86	45	9			-	-34
住宅	売上高	4,862	5,344	482	311	75	-	96	-
	営業利益	543	630	87	95			-	-83
建材	売上高	515	550	35	30	5	-	-	-
	営業利益	40	55	15	11			-	-1
エレクトロニクス	売上高	1,311	1,450	138	91	46	154	1	-
	営業利益	28	142	114	63			-	5

*1 2013年度第1四半期より、「ケミカル・繊維」、「住宅・建材」、「エレクトロニクス」、「ヘルスケア」の4事業領域の区分に基づき、事業セグメントの記載順序を見直している。

セグメント*1別売上高・営業利益増減要因(2)

(億円)

		12年度	13年度	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
医薬・医療	売上高	1,335	1,525	191	133	58	58	-	-
	営業利益	159	303	143	119			-	-33
クリティカルケア*2	売上高	521	798	277	115	-3	1	165	-
	営業損失	-37	-35	1	81			-	-77
その他	売上高	180	185	5	5	-	-	-	-
	営業利益	22	17	-5	1			-	-6
消去又は全社	営業損失	-105	-153	-48	-	-	-	-	-48
合計	売上高	16,666	18,978	2,311	1,089	748	768	474	-
	営業利益	920	1,433	514	415			-	-650

*1 2013年度第1四半期より、「ケミカル・繊維」、「住宅・建材」、「エレクトロニクス」、「ヘルスケア」の4事業領域の区分に基づき、事業セグメントの記載順番を見直している。

*2 「クリティカルケア」セグメントにおいて、2012年度では2012年4月27日以降の業績を開示していたが、2013年度より全期間の業績を連結対象としている。

連結貸借対照表

AsahiKASEI

(億円)

	13/3月末	14/3月末	増減		13/3月末	14/3月末	増減
流動資産	8,195	8,904	709	負債	9,757	9,893	136
現金及び預金	1,095	1,515	420	流動負債	6,029	5,768	-261
受取手形及び売掛金	3,062	3,167	105	固定負債	3,729	4,125	397
棚卸資産	3,097	3,285	189	純資産	8,245	9,258	1,013
その他	941	937	-4	株主資本	7,339	8,156	817
固定資産	9,807	10,247	440	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,616	4,805	190	資本剰余金	794	794	0
無形固定資産	2,554	2,584	30	利益剰余金	5,536	6,354	818
投資その他の資産	2,637	2,857	220	自己株式	-24	-26	-2
				その他の包括利益累計額	782	971	189
				少数株主持分	124	131	7
資産合計	18,002	19,151	1,149	負債純資産合計	18,002	19,151	1,149

連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費

AsahiKASEI

(1) 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	12年度	13年度
営業活動によるキャッシュ・フロー①	1,260	2,442
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-2,785	-1,038
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	-1,525	1,404
財務活動によるキャッシュ・フロー④	1,662	-1,051
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	-9	33
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	129	386

現金及び現金同等物の期首残高⑦	964	1,040
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	1	5
関係会社の報告期間変更に伴う増減額⑨	-53	-
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧+⑨)	1,040	1,431

(2) 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	12年度	13年度
設備投資額(有形)	923	825
設備投資額(無形)	215	99
設備投資額計	1,138	924
減価償却費(有形と無形(除く、のれん)の合計)	800	861
減価償却費(のれん償却額)	70	88
減価償却費	870	949
研究開発費	711	711

2. 2014年度業績予想

当期の業績予想

AsahiKASEI

(億円)

	12年度	13年度			14年度(予)			増減 b-a
		上	下	計a	上	下	計b	
売上高	16,666	9,190	9,788	18,978	9,730	10,430	20,160	1,182
営業利益	920	743	691	1,433	670	830	1,500	67
経常利益	951	729	700	1,429	670	840	1,510	81
当期純利益	537	466	546	1,013	390	510	900	-113

ナフサ価格(国産ナフサ¥/kl)	57,500	64,700	69,900	67,300	70,000	70,000	70,000	2,700
為替レート(相場平均¥/\$)	83	99	102	100	100	100	100	-0

	12年度	13年度	14年度
1株当たり年間配当金	14円	17円	17円 (予定)
配当性向	36.4%	23.5%	26.4%

新セグメント別売上高・営業利益

2014年度より、これまでの「ケミカル」、「繊維」、「住宅」、「建材」、「エレクトロニクス」、「医薬・医療」、「クリティカルケア」の7つの報告セグメント区分から、「ケミカル・繊維」、「住宅・建材」、「エレクトロニクス」、「ヘルスケア」*1の4つの報告セグメント区分による開示に変更する。

＜新セグメント別売上高＞

(億円)

	13年度			14年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカル・繊維	4,568	4,557	9,125	4,760	5,000	9,760	635
住宅・建材	2,662	3,232	5,894	2,870	3,240	6,110	216
エレクトロニクス	747	703	1,450	760	760	1,520	70
ヘルスケア*1	1,133	1,191	2,324	1,220	1,340	2,560	236
その他	80	105	185	120	90	210	25
合計	9,190	9,788	18,978	9,730	10,430	20,160	1,182

＜新セグメント別営業利益＞

(億円)

	13年度			14年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカル・繊維	276	199	474	265	325	590	116
住宅・建材	296	389	685	285	325	610	-75
エレクトロニクス	93	49	142	70	80	150	8
ヘルスケア*1	143	124	267	125	170	295	28
その他	8	9	17	5	10	15	-2
消去又は全社	-73	-80	-153	-80	-80	-160	-7
合計	743	691	1,433	670	830	1,500	67

*1 従来の「医薬・医療」セグメントおよび「クリティカルケア」セグメントは「ヘルスケア」セグメントとして開示している。

事業別*1売上高

AsahiKASEI

(億円)

	13年度			14年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカル	3,970	3,946	7,916	4,140	4,340	8,480	564
繊維	598	611	1,209	620	660	1,280	71
住宅	2,384	2,960	5,344	2,570	2,940	5,510	166
建材	278	272	550	300	300	600	50
エレクトロニクス	747	703	1,450	760	760	1,520	70
医薬・医療	758	768	1,525	760	820	1,580	55
クリティカルケア	375	423	798	460	520	980	182
その他	80	105	185	120	90	210	25
合 計	9,190	9,788	18,978	9,730	10,430	20,160	1,182

*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

事業別*1 営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	13年度			14年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカル	232	157	389	225	275	500	111
繊維	44	42	86	40	50	90	4
住宅	265	364	630	260	300	560	-70
建材	31	24	55	25	25	50	-5
エレクトロニクス	93	49	142	70	80	150	8
医薬・医療	164	139	303	130	160	290	-13
クリティカルケア	-20	-15	-35	-5	10	5	40
その他	8	9	17	5	10	15	-2
消去又は全社	-73	-80	-153	-80	-80	-160	-7
合 計	743	691	1,433	670	830	1,500	67

*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

当期業績の見通し

	業績(億円)		見通し
	13年度	14年度予	
ケミカル	売上高 7,916 営業利益 389	8,480 500	モノマー系事業においてアクリロニトリルの市況改善などを、ポリマー系事業において合成ゴム、エンジニアリング樹脂などの販売量の増加を見込むことに加え、国内石化事業の基盤強化策実施に伴う収益改善効果により、増収・増益となる見通し。
繊維	売上高 1,209 営業利益 86	1,280 90	不織布事業やポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」で販売量の増加を見込むことにより、増収・増益となる見通し。
住宅	売上高 5,344 営業利益 630	5,510 560	集合住宅「ヘーベルメゾン™」の引渡戸数が増加するものの、建築資材価格や施工費の上昇により、増収・減益となる見通し。
建材	売上高 550 営業利益 55	600 50	軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル™」をはじめ、各製品の販売量が増加するものの、高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマ™フォーム」の新生産設備の償却費増加の影響を受けることなどから、増収・減益となる見通し。
エレクトロニクス	売上高 1,450 営業利益 142	1,520 150	電子部品系事業はスマートフォンや車載用途向け販売量の増加を見込む。電子材料系事業は販売価格下落の影響を受けるものの、各製品において販売量の増加を見込むことなどから、全体で増収・増益の見通し。
医薬・医療	売上高 1,525 営業利益 303	1,580 290	医薬事業は、骨粗鬆症治療剤「テリボン™」などの販売量が増加するものの、薬価改定の影響や研究開発費などの販管費の増加を見込み、医療事業では、ウイルス除去フィルター「プラノバ™」を中心に販売量の増加を見込むことから、全体で増収・減益となる見通し。
クリティカルケア	売上高 798 営業利益 -35	980 5	着用型自動除細動器「LifeVest™」を中心に引き続き業績の拡大を見込むことにより、事業利益は増益となる見通し。また事業利益から買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却費などの影響を除いた営業利益では黒字化を計画し、全体で増収・増益となる見通し。

3. 参考資料

事業(旧セグメント)別*1売上高推移

AsahiKASEI

(億円)

	12年度				13年度				14年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	上期 予想	下期 予想
ケミカル	1,611	1,713	1,690	1,832	1,931	2,039	2,014	1,932	4,140	4,340
繊維	263	276	275	283	288	310	301	310	620	660
住宅	863	1,267	1,174	1,557	984	1,400	1,218	1,742	2,570	2,940
建材	115	132	144	123	131	147	150	122	300	300
エレクトロニクス	340	330	332	310	365	382	366	337	760	760
医薬・医療	324	324	361	326	383	375	412	356	760	820
クリティカルケア*2	91	138	133	160	178	198	201	222	460	520
その他	44	45	42	50	40	40	45	60	120	90
合 計	3,650	4,225	4,151	4,640	4,300	4,890	4,707	5,081	9,730	10,430

*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

*2 「クリティカルケア」事業において、2012年度では2012年4月27日以降の業績を開示していたが、2013年度より全期間の業績を連結対象としている。

事業(旧セグメント)別^{*1}営業損益推移

AsahiKASEI

(億円)

	12年度				13年度				14年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	上期 予想	下期 予想
ケミカル	43	102	29	55	102	130	100	57	225	275
繊維	6	11	13	10	22	22	23	18	40	50
住宅	36	152	130	225	66	199	122	242	260	300
建材	5	11	17	7	13	17	20	5	25	25
エレクトロニクス	-4	4	14	14	38	55	35	14	70	80
医薬・医療	47	28	70	15	90	74	100	39	130	160
クリティカルケア ^{*2}	-5	-6	-12	-13	-15	-5	-7	-8	-5	10
その他	8	3	5	6	4	4	2	8	5	10
消去又は全社	-29	-30	-22	-23	-37	-36	-40	-40	-80	-80
合計	108	275	242	294	283	460	355	335	670	830

*1 2014年度の業績は2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

*2 「クリティカルケア」事業において、2012年度では2012年4月27日以降の業績を開示していたが、2013年度より全期間の業績を連結対象としている。

事業(旧セグメント)^{*1}別設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	設備投資額			減価償却費 ^{*2}			研究開発費		
	12年度	13年度	14年度 予想	12年度	13年度	14年度 予想	12年度	13年度	14年度 予想
ケミカル	473	308	370	300	311		159	152	
繊維	68	80	60	61	59		28	31	
住宅	95	87	100	53	59		22	22	
建材	22	64	15	23	22		10	9	
エレクトロニクス	170	146	160	150	143		176	164	
医薬・医療	143	95	120	105	100		200	197	
クリティカルケア ^{*3}	54	87	70	69	100		39	62	
その他	11	14	15	9	10		1	1	
消去又は全社	101	45	50	31	57		75	75	
合 計	1,138	924	960	800	861	900	711	711	820

のれん償却額^{*4} 70 88

*1 2014年度の予想は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

*2 従来の減価償却費はのれん償却額を含む金額で開示していたが、2012年度第2四半期決算発表時より有形固定資産、無形固定資産(除く、のれん)の償却額を合算した金額で開示している。

*3 「クリティカルケア」事業において、2012年度では2012年4月27日以降の業績を開示していたが、2013年度より全期間の業績を連結対象としている。

*4 ZOLL Medical社買収に伴うのれん償却額等

設備投資件名

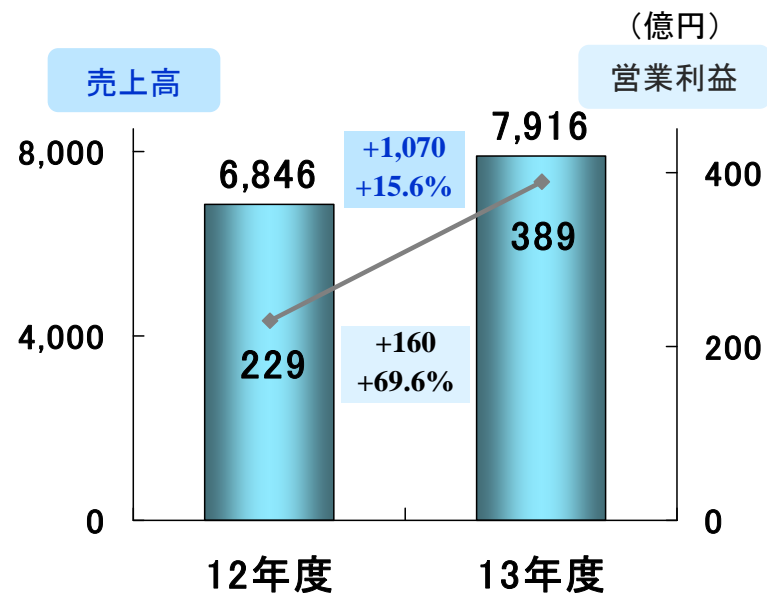
<13年度完工件名>

- ・溶液重合法SBRの製造設備新設
(11/7~13/4、5万トン/年、シンガポール)
- ・リチウムイオン二次電池用セパレータ
「ハイポア™」の製造設備能力増強
(13/7、5,000万m²/年、日向)
 - ・医薬研究センター創薬棟建設
(12/9~13/10、大仁)
- ・感光性ドライフィルム「サンフォート™」の製
造設備新設(12/5~13/10、約1.2億m²/年、
中国常熟)
 - ・アセトニトリルの製造設備新設
(12/4~14/1、1.1万トン/年、韓国(東西石
油化学(株)))
- ・高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマ™
フォーム」の製造設備能力増強
(12/4~14/3、現生産能力の約1.8倍、境)

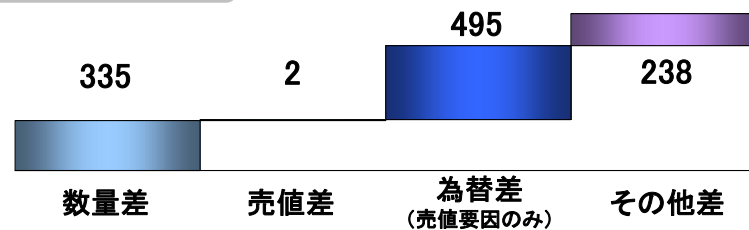
<13年度末時点 工事中件名>

- ・再生セルロース繊維「ベンベルグ™」の製造設備
増設(13/4~14/4、延岡)
- ・溶液重合法SBRの製造設備第2系列増設
(13/4~15年前半、5万トン/年、シンガポール)

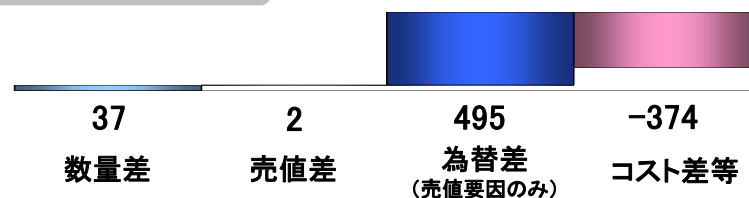
○: 投資額30億円以上



売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

・汎用系事業

<モノマー系事業>

アクリロニトリルの市況が低水準で推移したことや原燃料価格高騰の影響を受けたものの、円安の効果に加え、スチレンモノマーの市況が改善したことなどから、前期比増収、増益となった。

<ポリマー系事業>

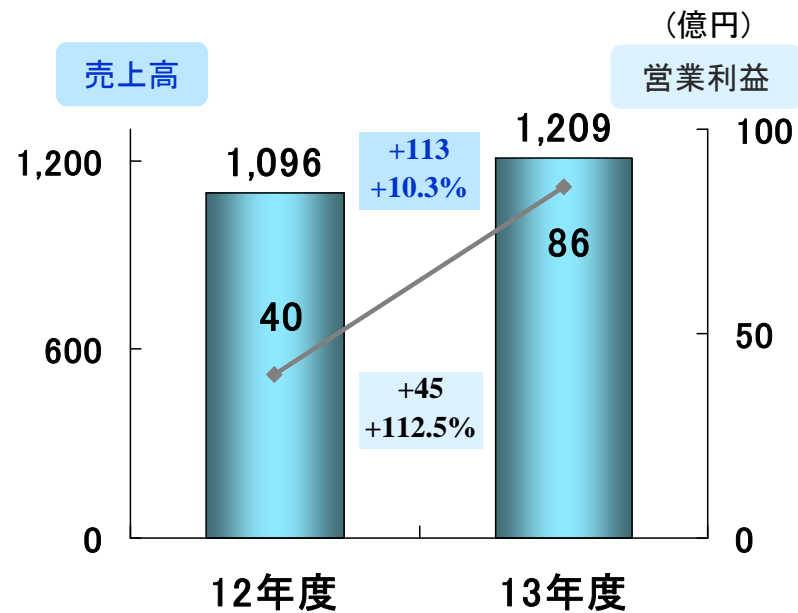
ポリエチレンなどが原燃料価格高騰の影響を受けたが、円安の効果に加え、エンジニアリング樹脂や省燃費タイヤ向け合成ゴムの販売が堅調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

・高付加価値系事業

イオン交換膜を中心とした円安の効果に加え、コーティング事業や添加剤事業などの販売が堅調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・シンガポールにおける省燃費タイヤ向け溶液重合法スチレンブタジエンゴム(S-SBR)の新工場が商業運転を開始。(4月)
- ・中国におけるポリアセタール製造・販売合弁会社のデュポン持分全株式を譲り受けることを決定。(6月)
- ・中国におけるポリカーボネートジオール(PCD)「デュラノール™」の生産設備新設を決定。(8月)
- ・韓国におけるアセトニトリルの新プラントが商業運転を開始。(1月)
- ・三菱化学(株)との水島地区エチレンセンター集約検討において2016年4月の1基化(三菱設備に集約)について合意。(2月)
- ・アクリロニトリルやスチレンモノマーなどの国内の石油化学事業について基盤強化策を実施することを決定。(2月)



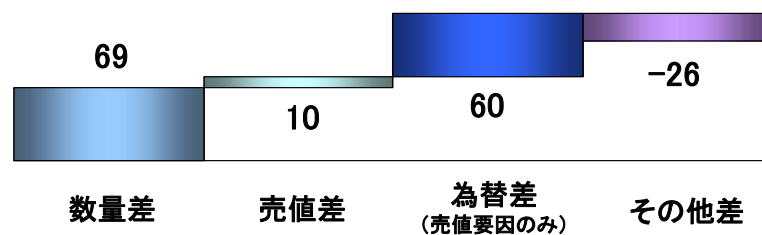
<概況>

各製品において原燃料価格高騰の影響を受けたが、円安の効果に加え、カーシート向けが好調な人工皮革「ラムース™」などの不織布やポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」の販売が堅調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

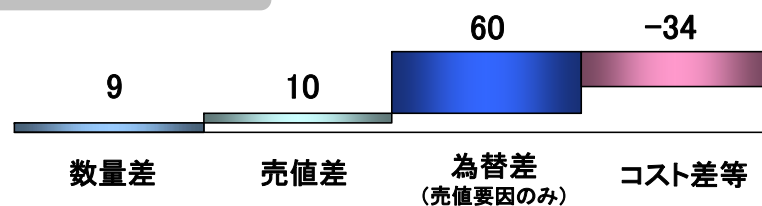
<トピックス>

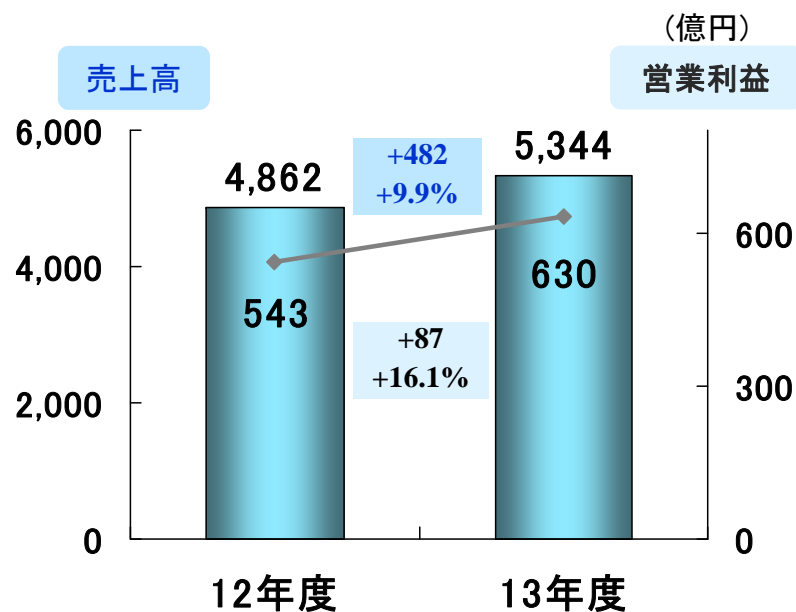
- ・旭化成・中国ファッションデザイナークリエイティブ大賞の授与式及びファッションショー開催。(3月)

売上高増減分析



営業利益増減分析





事業別増減分析

	12年度		13年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負部門 (旭化成ホームズ)	3,673	426	3,941	491	267	65
不動産部門 (旭化成不動産レジデンス)	706	45	858	58	152	13
リフォーム部門 (旭化成リフォーム)	463	61	526	65	63	4
その他住宅周辺事業等	19	11	19	16	▲0	5
合計	4,862	543	5,344	630	482	87

<概況>

・建築請負部門

- ・前年度の好調な受注実績を背景に、戸建住宅「ヘーベルハウス™」や集合住宅「ヘーベルメゾン™」の引渡戸数が増加したことなどから、前期比増収、増益となった。
- ・建築請負事業の受注高は、13年4-9月に消費税増税前の駆け込み需要が発生し、10月以降にその反動を受けたことなどから、4-9月では前年同期比21.4%の増、10-3月では前年同期比17.3%の減となり、4-3月累計では前期比2.2%の増となった。

・不動産部門、リフォーム部門等

不動産事業で賃貸管理事業が堅調に推移したことや、リフォーム事業で外壁塗装工事などの受注が好調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・単世帯で75坪以上となる「邸宅」スペックの都市型住宅「ヘーベルハウス™ FREX RESIDENCE」を発売。(5月)
- ・家族のくらしの変化を踏まえた“イマドキ親子の二世帯住宅”「ヘーベルハウス™ 都市の実家」を発売。(8月)
- ・新商品「NEXT HEBEL HAUS™」シリーズを発売。(11月)
- ・台湾塑膠工業股份有限公司と台湾での個人向け住宅の試作棟建設を含む共同開発プロジェクトへの参画を決定。(3月)

住宅／売上高*1、受注高の状況

AsahiKASEI

(単位:億円、()内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他	関係会社等	連結計	受注残
09	上期	1,546 (▲1.6%)	1,158 (▲10.5%)	52 (▲12.6%)	8	358 (4.4%)	1,577 (▲7.4%)	3,213
	下期	1,523 (13.7%)	1,665 (▲6.4%)	269 (12.4%)	11	375 (1.7%)	2,320 (▲3.2%)	3,071
	通期	3,069 (5.4%)	2,823 (▲8.1%)	321 (7.4%)	19	734 (3.0%)	3,897 (▲4.9%)	
10	上期	1,817 (17.6%)	1,255 (8.3%)	94 (79.8%)	11	375 (4.8%)	1,735 (10.0%)	3,634
	下期	1,728 (13.4%)	1,766 (6.1%)	184 (▲31.7%)	15	392 (4.5%)	2,357 (1.6%)	3,595
	通期	3,545 (15.5%)	3,021 (7.0%)	278 (▲13.6%)	25	768 (4.6%)	4,092 (5.0%)	
11	上期	1,894 (4.2%)	1,459 (16.3%)	119 (26.5%)	15	406 (8.3%)	2,000 (15.2%)	4,030
	下期	1,825 (5.6%)	1,937 (9.7%)	118 (▲35.7%)		465 (14.2%)	2,520 (6.9%)	3,918
	通期	3,719 (4.9%)	3,396 (12.4%)	237 (▲14.7%)		887 (11.8%)	4,520 (10.4%)	

		請負受注高	建築請負 部門売上高	不動産 部門売上高				リフォーム 部門売上高	他	連結計	受注残
				分譲	賃貸	他	合計				
12	上期	2,075 (9.5%)	1,614	44	233	11	288	216	12	2,130 (6.5%)	4,415
	下期	2,049 (12.3%)	2,059	162	245	11	419	247	7	2,731 (8.4%)	4,446
	通期	4,124 (10.9%)	3,673	206	478	22	706	463	19	4,862 (7.6%)	
13	上期	2,519 (21.4%)	1,810 (12.1%)	45	262	14	321	245	8	2,384 (11.9%)	5,199
	下期	1,694 (▲17.3%)	2,131 (3.5%)	248	279	11	537	281	11	2,960 (8.4%)	4,815
	通期	4,213 (2.2%)	3,941 (7.3%)	293	541	25	858	526	19	5,344 (9.9%)	
14予	通期	4,060 (▲3.6%)	3,990 (1.2%)	290	605	30	925	580	15	5,510 (3.1%)	4,985

*1 2012年度より「建築請負部門」、「不動産部門」、「リフォーム部門」の区分にて表示。従来に分譲事業売上高は、建築請負部門と不動産部門に分けて算入。

住宅(1)

1. 2013年度 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前期比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建 系	低層	2,262	4.8%	7,458	5.2%	2,199	-7.1%	7,192	-10.7%
	中層	855	5.0%	3,344	4.0%	1,026	8.9%	4,048	5.4%
	小計	3,117	4.9%	10,802	4.8%	3,224	-2.5%	11,240	-5.5%
集 合 系	低層	277	24.7%	2,184	21.9%	354	19.9%	2,788	18.2%
	中層	449	11.6%	3,352	3.3%	635	21.9%	4,781	21.4%
	小計	726	16.3%	5,536	9.9%	989	21.2%	7,569	20.2%
建築請負事業合計		3,843	6.9%	16,338	6.5%	4,213	2.2%	18,809	3.4%
その他*1		98	26.1%	36	5.9%	-	-	-	-
建築請負部門合計		3,941	7.3%	16,374	6.5%	4,213	2.2%	18,809	3.4%

*1 一部分譲事業(「街かどヘーベルハウス™」分譲、売建分譲)及び損害保険手数料収入等。

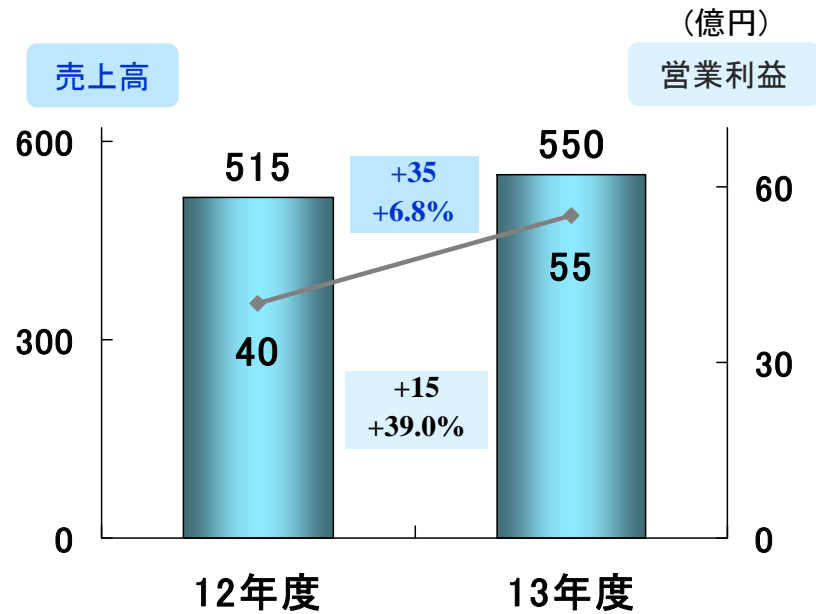
住宅(2)

2. 2014年度予想 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前期比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建 系	低層	1,990	-12.0%	6,760	-9.4%	2,110	-4.0%	6,920	-3.8%
	中層	940	10.0%	3,680	10.0%	1,000	-2.5%	3,930	-2.9%
	小計	2,930	-6.0%	10,440	-3.4%	3,110	-3.5%	10,850	-3.5%
集 合 系	低層	360	29.8%	2,790	27.7%	340	-3.9%	2,660	-4.6%
	中層	600	33.7%	3,740	11.6%	610	-3.9%	4,590	-4.0%
	小計	960	32.2%	6,530	18.0%	950	-3.9%	7,250	-4.2%
建築請負事業合計		3,890	1.2%	16,970	3.9%	4,060	-3.6%	18,100	-3.8%
その他*1		100	2.5%	30	-16.7%	-	-	-	-
建築請負部門合計		3,990	1.2%	17,000	3.8%	4,060	-3.6%	18,100	-3.8%

*1 一部分譲事業(「街かどヘーベルハウス™」分譲、売建分譲)及び損害保険手数料収入等。



<概況>

軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベルTM」の販売が堅調に推移し、高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマTMフォーム」などが販売量を伸ばした。また、中小型パイル工法「イーゼットTM」や「ATTコラムTM」で新規用途の開拓などにより受注が拡大し、構造資材事業の販売も好調であったことなどから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

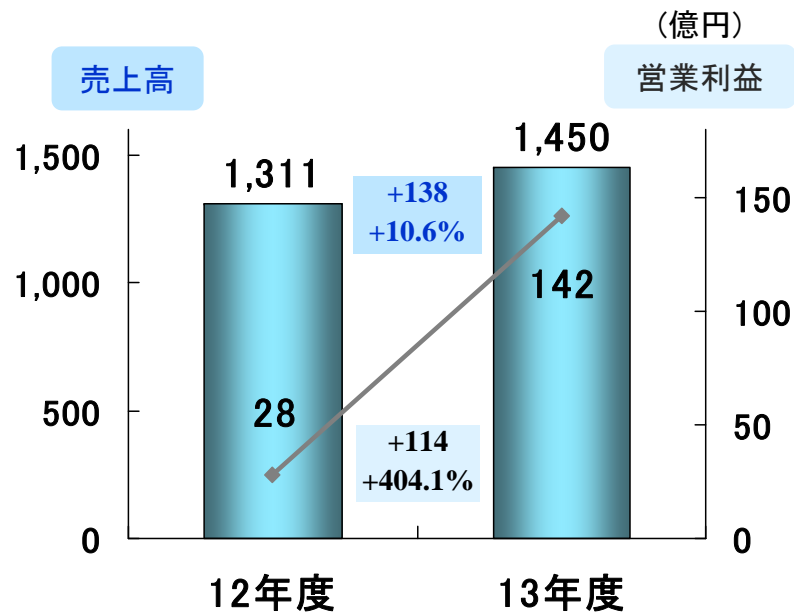
- ・ネオマフォーム工場の製造ライン新設工事が完了、稼働開始。(3月)

売上高増減分析

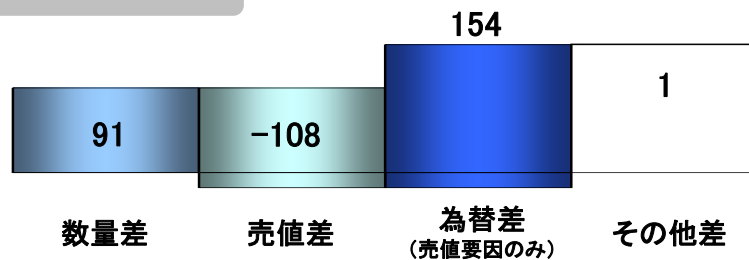


営業利益増減分析

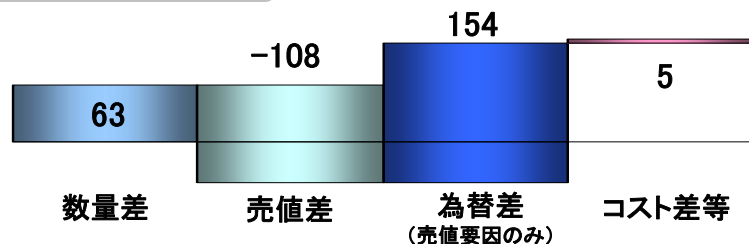




売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

・電子部品系事業

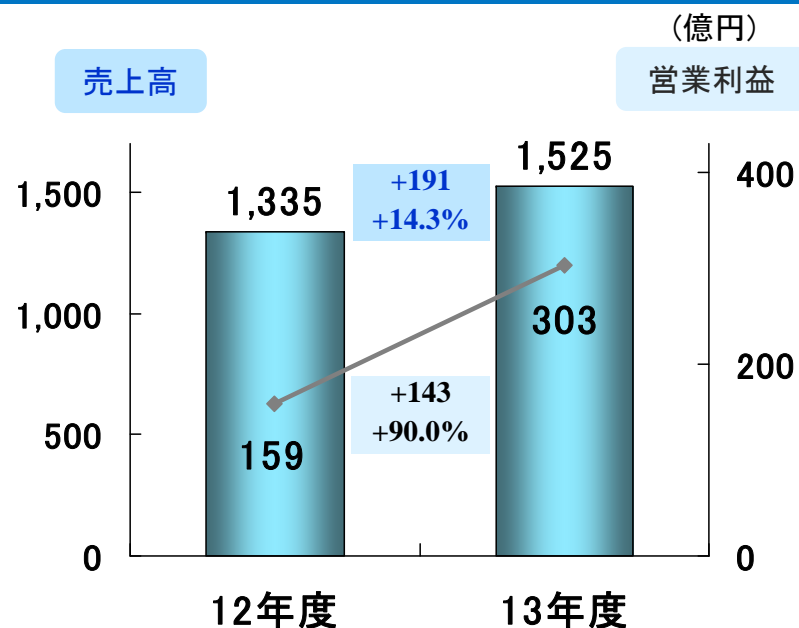
各製品において販売価格下落の影響を受けたが、円安の効果に加え、スマートフォンなど携帯端末向けで電子コンパスや磁気センサの販売量が増加したことなどから前期比増収、増益となった。

・電子材料系事業

リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」を中心に販売価格下落の影響を受けたが、円安の効果に加え、各製品における高機能領域の販売が順調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

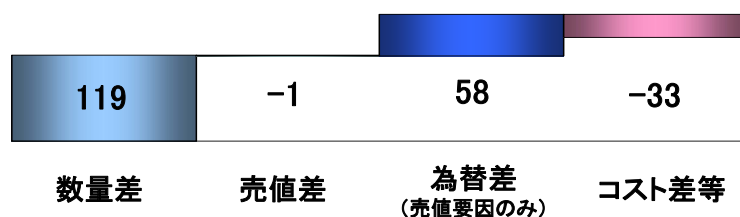
- ・1.2mm角の世界最小サイズを実現した携帯機器向け3軸電子コンパス新製品発売。(10月)
- ・中国江蘇省常熟市で感光性ドライフィルム「サンフォート™」の新工場稼働開始。(10月)



売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

・医薬事業

研究開発費などの販管費が増加したものの、骨粗鬆症治療剤「テリボン™」や血液凝固阻止剤「リコモジュリン™」を中心に販売量が増加したことから前期比増収、増益となった。

・医療事業

円安の効果に加え、透析関連製品やアフレスス(血液浄化療法)関連製品の販売が堅調に推移し、ウイルス除去フィルター「プラノバ™」の販売量が増加したことなどから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・マイコプラズマ感染の診断補助のための迅速診断キット「リボテスト™ マイコプラズマ」を発売。(8月)
- ・トロンボモジュリン製剤「リコモジュリン™ 点滴静注用12800」(一般名:トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え))について、日本国内におけるコ・プロモーション(共同販促)契約をファイザー(株)と締結。(9月)
- ・英国Vernalis社と関節リウマチを含む自己免疫疾患に対する創薬に関する共同研究契約を締結。(10月)
- ・医薬研究センター 創薬棟が竣工。(10月)
- ・ヒト副甲状腺ホルモン(ヒトPTH:「テリボン™」)の経皮吸収製剤開発の中止を決定。(1月)
- ・「テリボン™」および「リコモジュリン™」の製造を行う医薬生産センター名古屋 医薬工場第2製剤棟が竣工。(2月)
- ・スイスActelion社との訴訟で、米国カリフォルニア州最高裁判所がActelion社の上告受理の申立を却下。Actelion社に当社への損害賠償額415.7百万USドルの支払いを命ずる第一審判決が確定。(3月)
- ・(株)ジェイ・エム・エスとHDF(血液透析濾過)療法分野での業務提携について基本合意(2014年4月)

医薬・医療／売上高内訳

(億円)

		12年度			13年度		
		上期	下期	年間	上期	下期	年間
医薬事業	国内医薬	342	366	708	408	414	822
	その他	23	26	49	33	26	58
	計	365	392	757	441	439	880
医療事業		283	295	578	317	328	645
医薬・医療 計		648	686	1,335	758	768	1,525

<主要医薬品の国内売上高>

(億円)

	12年度			13年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
テリボン TM	73	97	170	128	141	269
フリバス TM	70	72	142	70	72	142
リコモジュリン TM	43	52	94	59	67	126
エルシトニン TM	53	47	100	43	36	79
ブレディニン TM	31	29	60	32	31	63

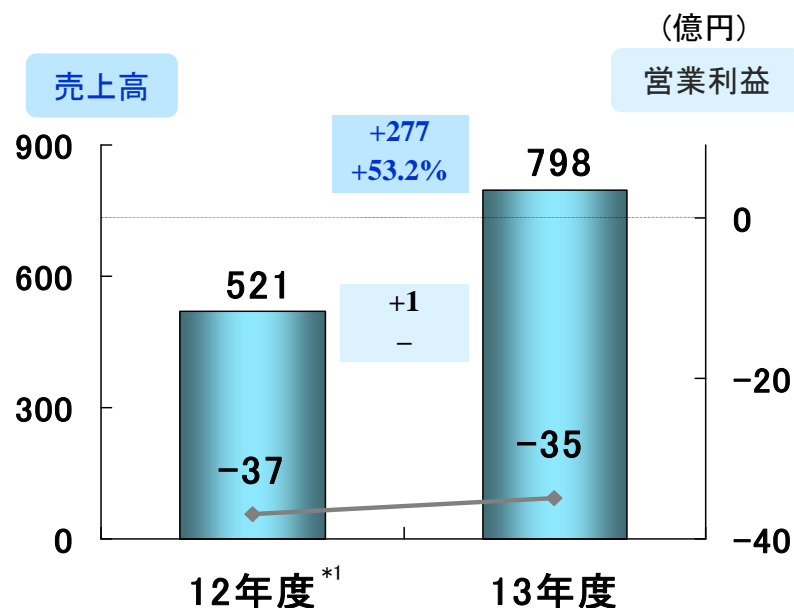
	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型
テリボン™	テリパラチド 酢酸塩	骨粗鬆症治療剤 (副甲状腺ホルモン: PTH)	骨折の危険性の高い 骨粗鬆症	注射剤
フリバス™	ナフトピジル	α 1ブロッカー	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	錠剤
リコモジュリン™	トロンボモデュリン ア ルファ(遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC(汎発性血管内血液 凝固症)	注射剤
エルシトニン™注 20S エルシトニン™注 20Sディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤
ブレディニン™	ミゾリピン	免疫抑制剤	関節リウマチ、腎移植、 ネフローゼ症候群、ルー プス腎炎	錠剤

		開発コード・剤型 (一般名)	区 分	薬 効・分 類	適 応 症	自社/導入	備考
国 内	フェーズⅢの品目	AK-156注 (ゾレドロン酸水和物)	新効能・新用量 医薬品	骨吸収抑制剤 (ビスフォスフォネート)	骨粗鬆症	導入	年1回 投与
		AK-160注	新成分新薬	細菌由来の コラゲナーゼ製剤	デュピュイトラン 拘縮	導入	
	フェーズⅡの品目	AT-877錠 (ファスジル塩酸塩水和物)	適応拡大 剤型追加	ローキナーゼ阻害剤	肺高血圧症	自社	
		HC-58注 (エルカトニン)	適応拡大	カルシトニン製剤	肩手症候群	自社	
海 外	フェーズⅢの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ 遺伝子組換え)	新成分新薬	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	自社	
	フェーズⅡの品目	AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ	自社	

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

クリティカルケア概況



<概況>

営業活動強化に伴う販管費が増加し、連結対象期間の差異による影響などがあったものの、着用型自動除細動器「LifeVest(ライフベスト)™」の業績が順調に拡大し、医療機関向け除細動器の販売も堅調に推移したことなどから、増収、増益となった。

<トピックス>

- ・救急隊・医療機関向け除細動器「X Series™」の日本国内での製造販売承認を取得。(11月)
- ・「LifeVest(ライフベスト)™」の日本国内での製造販売承認を取得。(7月)
- 日本国内でのサービス提供開始。(2014年4月)

<参考:クリティカルケアセグメント業績推移>

(億円)

	12年度*1			13年度		
	上期	下期	(11ヵ月)	上期	下期	年間
売上高(連結)	229	293	521	375	423	798
事業利益*2	41	32	73	46	49	95
のれん償却額	-23	-30	-53	-35	-36	-71
無形固定資産償却額等	-29	-27	-57	-31	-28	-59
償却額合計*2	-52	-58	-110	-66	-64	-130
営業利益(連結)	-11	-26	-37	-20	-15	-35

*1 2012年5月-2013年3月の11ヶ月間の業績

*2 2012年度第3四半期まで、当社による買収前に発生していたZOLL Medical社の無形固定資産償却費用を「償却額合計」に含めて表示していたが、2012年度第4四半期より同費用は「事業利益」より差し引くこととし、「償却額合計」からは除いている。これに伴い、過去に遡って2012年度分の表示を変更している。(尚、該当は「無形固定資産償却額等」のみで、「のれん償却額」には影響はない。)

連結包括利益計算書

AsahiKASEI

(億円)

	12年度	13年度	増減																				
少数株主損益調整前当期純利益①	539	1,021	482																				
<table border="1"> <tr> <td>その他有価証券評価差額金</td> <td>224</td> <td>130</td> <td>-94</td> </tr> <tr> <td>繰延ヘッジ損益</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td>為替換算調整勘定</td> <td>346</td> <td>291</td> <td>-55</td> </tr> <tr> <td>持分法適用会社に対する持分相当額</td> <td>58</td> <td>12</td> <td>-46</td> </tr> <tr> <td>その他の包括利益合計②</td> <td>636</td> <td>440</td> <td>-196</td> </tr> </table>	その他有価証券評価差額金	224	130	-94	繰延ヘッジ損益	8	7	-1	為替換算調整勘定	346	291	-55	持分法適用会社に対する持分相当額	58	12	-46	その他の包括利益合計②	636	440	-196			
その他有価証券評価差額金	224	130	-94																				
繰延ヘッジ損益	8	7	-1																				
為替換算調整勘定	346	291	-55																				
持分法適用会社に対する持分相当額	58	12	-46																				
その他の包括利益合計②	636	440	-196																				
包括利益(①+②)	1,175	1,461	286																				

(内訳)

親会社株主に係る包括利益	1,165	1,450	285
少数株主に係る包括利益	10	11	1